



常磐開発<1782>、MBOで株式を非公開化



常磐開発は13日、MBO（経営陣による買収）で株式を非公開化すると発表した。同社会長の佐川藤介氏が設立したエタニティ（福島県いわき市）がMBOを目的とするTOB（株式公開買い付け）を実施し、全株式の取得を目指す。常磐開発はTOBに賛同している。主力の建設事業を取り巻く経営環境が厳しくなる中、環境関連をはじめ新規分野への展開など抜本的な構造改革を進めるためには短期的な業績や株価動向にとらわれない体制づくりが必要と判断した。

常磐開発はジャスダック上場。エタニティによる買付価格は1株につき7800円で、TOB公表前日の終値5900円に32.2%のプレミアムを加えた。買付予定数（78万3966株）の下限は所有割合66.67%にあたる52万2700株に設定した。買付代金は61億1493万円。常磐開発の筆頭株主で株式12.76%を保有する常磐興産（東証1部）はTOBに応募する契約を結んだ。

買付期間は11月16日～12月28日。公開買付代理人はみずほ証券。決済の開始日は2021年1月6日。

常磐開発は1960年に常磐興産の前身である常磐炭礦の磐城砒業所から土建、開削、ボーリング部門などが分離・独立して発足した。